

遺体は地元女性か

福島町クマ襲撃? 全身に傷

【福島】2日前午9時ごろ、渡島管内福島町日向の男性が友人を通じ「昨日か



ら妻が畑仕事に出たまま帰らない」と、松前署に届け

出た。同署などが捜索したところ、同日10時20分頃に

同日白符の山林で、性別不明の遺体が見つかった。同

署は遺体はこの女性とみて身元を調べるとともに、全

身に引っかけられたような傷などがあることから、ヒク

マに襲われたとみている。道内では今年4月に釧路

管内厚岸町の山林で男性(60)がクマに襲われて死亡

している。道警によっても、今回がクマによる被害と確

認されれば、1年間にクマによる複数の死者が出ると

は、2010年に2人が死

亡して以来。同署などによると、行方不明となっているのは福島

町日向、小笠原セツさん(77)。

同署によると、遺体の発見現場は国道沿いの山林

内。近くに小笠原さんの畑があり、畑から山側に数十

メートル入ったところに遺体があ



遺体が発見された現場付近に向かうハンターら。2日前午後4時20分、福島町白符

った。小笠原さんは1日朝、畑仕事のために自宅を出た。帰途の夕方になつても戻らなかつたため、親族や友人が周辺を捜していたという。

北海道環交の地元ハンターらが2日前午後5時ごろ

まで、現場付近でクマを捜索したが見つからなかつ

た。捜索は日早朝から再開する。

住民恐怖「民家の近くで」

【福島】ヒクマに襲われ

たとみられる遺体が見つ

った渡島管内福島町の白符

地区では5月下旬からクマ

と恐怖に身を震わせた。

現場は福島町役場から南

に1・2キロの地点。山林が

海に迫り、海岸沿いを縫う

ように国道228号が走る

静かな漁業地区だ。国道近

くには民家が立ち並ぶが、

高齢化による人口減少のため空き家も多く、住民の70

代男性は、クマが頻繁に出

没していたとしても、住ん

でいる人が少なく気まぎに

5件と例年並み。白符地区

では5月27、28の両日、今

回の現場から白符川を挟んで

西側にある林道付近でクマ

の目撃情報があり、同町は

ハンターによるパトロール

や箱わな設置のほか、地区

内にクマ出没を知らせる

看板を設置し、住民に注意

を呼びかけてきた。

今回の現場は地区の東側

でわななどは設置されてお

らず、福島町の担当者は「地

区としては対策を強化して

きたのだが」と漏らした。

白符地区の葺山哲三さん

は「現場はもぐらに囲まれた

場所なので、クマが畑に近

づくまで分からなかつたの

では」と推測。白符地区の

女性(85)は「早くクマを駆

とが多く、「体がしんどい

から畑は今年でもうやめ

る」と知人に話していた。

知人女性は「数日前から草

むしりに行っていたらしい。

一生懸命働く人。今は

とも頭の整理がつかない

」と言葉を詰まらせた。

(久保吉史、大庭イサク)

死傷者8人

最多に並ぶ

道内クマ被害確認なら

渡島管内福島町で2日に

見つかった遺体がヒクマに

襲われて亡くなったことが

確認された場合、今年の道

内のクマによる人身事故被

害者は計8人となり、記録が

残る1962年以降、64年と

並び過去最多となる。専

門家は近年、人里に近づく

町で山菜採り中の男性1人

が襲われて死亡し、富良野

市でハンター1人が負傷し

た。厚岸町では6月にも山

林で測量作業中の男性1人

が襲われて負傷。同月には

札幌市東区の住宅街にクマ

が出没し、男女計4人に重

軽傷を負わせ駆除された。

酪農学園大の佐藤善和教

授(野生動物生態学)は「ヒ

クマによる人身事故の9割

は、山菜採りや狩猟で森林

に入った人が被害者で、畑

での作業中に襲われたこ

たら非常に珍しい」と指摘

し、「7、8月は山にえさな

る植物が少なく、畑に近

づいたクマが人と鉢合わせ

した可能性が高い。最初から

人を狙ったわけではない